

A L S 患者の病状経過の例

上肢の筋萎縮、筋力低下で発症した37歳。

- 発症後1年後に「呂律がまわりにくくなる」
- 発症後3年後に「食事に時間がかかる」「痰の喀出が困難になる」
- 発症後7年後に気管切開・人工呼吸療法開始

(年)

病歴	0	1	2	3	4	5	6	7
入院			国立A病院	D病院	タクシーで通院	本人退職	D病院第1回入院	D病院第2回入院 D病院第3回入院 D病院第4回入院 D病院第5回入院
医療および生活	37歳	国立A病院	A.L.S.診断 C大学病院に入院	D病院	タクシーで通院	本人退職	D病院第1回入院	D病院第2回入院 D病院第3回入院 D病院第4回入院 D病院第5回入院
上肢	指先にかが み込まない	ポツンを はめにくい	挙上 しにくい	食事 要介護	支え歩き 背もたれ付 椅子で座位 保持可		指先動く	わずかに 指先動く
下肢	走ると足が もつれる		足先がひき かかると 歩行時	足の運び が重い	車椅子 使用		階段を 昇れない	
言語		ろれつが 回りにくい	口のしまり が悪い	しゃべり にくい	話しにくい	聞き取れ ない	文字盤 使用開始	
嚥下				食事に時間 がかかる	食事の 嚥下困難	むせが 多くなる		経管栄養
呼吸				痰が 出にくい	痰が 出にくい	呼吸が 苦しい	胸押し排痰	人工呼吸器 装着 気管切開
頸部					頸が 疲れる	頸の 支えが 弱い		わずかに頸 を動かせる
在宅看護課題		診断未確定のた め不安が大きい	就労困難 運動障害の看護 専門病院の紹介と受診 日市難病検査受診 保健所保健婦	コミュニケーション 障害の看護	嚥下障害の看護	呼吸障害の看護	気管カニューレ 装着の看護	家族支援の看護
療養支援チームなど			専門病院の紹介と受診 日市難病検査受診 保健所保健婦	電動タンス準備 車椅子準備 病院通院にて 機能訓練開始 生活保護受給	吸引器の準備 訪問看護婦	安んびユーバッグの準備 住宅改造(浴室 入浴先 スロープ)	病棟看護婦による 看護指導	訪問看護婦の訪問回数 の増 タッチセンサーの コールの準備 夜間介護援助者 器械の準備 パソコンによる コミュニケーション 保健所保健婦訪問看護 専門医地域主治医の共診 在宅診療開始(看護婦 医師)

病状経過と在宅看護課題および療養支援チーム(筋萎縮性側索硬化症)